

団体活動取りまとめシート

	自治連合会大山口小学校区支部	地区社会福祉協議会	西部地区民生委員児童委員連絡協議会	青少年相談員連絡協議会	大山口小学校PTA
強み・自慢・売り				メンバーが持っているものを活かし、長年継続して実施してきた活動実績	
組織				31人(第20期青少年相談員)のうち、大山口小学校区は4名 任期:3年間 年齢層 20歳代~50歳代	
活動の 主な収支 (1000円未満切捨)				[主な収入]地区活動助成金 35,000円、参加費 62,500円 [主な支出]食糧費 38,000円、雑費 27,000円(貸し布団)、消耗品費 10,000円、役務費 9,000円(保険代)など	
主な事業 ①事業名称 ②目的・内容等 ③参加者 ④運営・協力体制 ⑤課題・将来展望				①西白井地区通学合宿 ② 子どもたちが地域を知り、地域を愛そうとするきっかけをつくる。 小学5、6年生 25名 9月(2泊3日) 自分たちで献立作り、買い物、調理を行う。 地域の協力による「もらい湯」を経験する。 センターに宿泊し、小学校に通学する。 ③ 25名 ④ 大山口、清水口、七次台小学校区の青少年相談員の運営、青少年相談員 OB/OG、知人の協力 ⑤ 運営・協力ボランティアの確保、参加者の確保、人材を確保し継続的に安定した事業を展開したい。	
団体の課題 ①人、②もの、③お金、④その他				① 人材の確保 ・仕事等が多忙で会議や活動に参加できない相談員が多く、若くて子ども・世話好きな人がほしい。 ・ボランティアは毎回個人のネットワークで協力要請しているが、安定的に確保したい。 ・参加者が増えない傾向がある	
団体の将来展望				・色々な人が持つ知識や能力をいかし活動を充実させたい。まずは、青少年相談員の名前、存在を地域に知ってもらうことから始めたい。	
団体活動を通して感じる地域課題				・子どもたちのコミュニケーション力の不足 ➡挨拶の習慣づけが必要	

	大山口中学校PTA	高齢者クラブ大松長寿会	高齢者クラブ大山口大寿会	ふれあい大松	NPO法人まちづくり西白井
強み・自慢・売り		会員同士は友好的、協力的		頼めば来てくれる、やってくれる協力的な関係(スタッフ及び参加者を含め)	メンバーそれぞれに専門性や多彩な経験・技能を持ち合わせている。
組織		会員:61人(微増傾向) 70~90歳代中心 男24人、女37人 役員:会長1人、副会長3人の他会計、監査 全体で4班体制、役員が各班の班長兼務 班長の役割は回覧、参加者の取りまとめ		会員:15人(減少傾向)70歳代中心、男2人、 女13人 団体創設から8年 役員:会長、副会長1人ずつ 任期はなし	会員:14名 役員:7名 理事長1名、副理事長1名、監 事1名 ほか
活動の 主な収支 (1000円未満切捨)		[主な収入]市補助金 80,000円、年会費 140,000円(年会費2,400円) など [主な支出]事業費(定例親睦会)130,000円、 雑費20,000円、慶弔費20,000円、分担金(白 井高連年会費)17,000円、会議費、事務費など		<ふれあい大松サロン> [主な収入]参加費(1回一人100円)、助成金(ボラ ンティア連絡協議会から)30,000円 など [主な支出]ふれあい大松&サロン 113,000 円、謝礼23,000円、事務費21,000円 など <健康体操教室> [主な収入]参加費(1回一人300円)、年会費 など [主な支出]講師謝礼280,000円 など	[主な収入]会費 52,000円、事業収益 120,000円 [主な支出]事業費40,000円、管理費50,000円
主な事業 ①事業名称 ②目的・内容等 ③参加者 ④運営・協力体制 ⑤課題・将来展望		①定例親睦会 ②地域高齢者の集い・ふれあい・交流 大松集会所(1時間100円)にて年6回開催(10時 ~12時) 昼食提供(年3回)の時は11時~14時 内容:梨トレ体操、ゲーム・歌・脳トレ・トランプ など、お茶会 ③原則、大松地区在住 60歳以上 毎回40 人程参加 ④会で運営、ふれあい大松(会員多数加入、運 営のノウハウの提供)、自治会(年1回回覧で入会勧 誘、集会所の借用)の協力 ⑤全会員の参加が難しい(理由:病院、他サーク ルへの参加)が、全員参加でバス等にて外出し たい。		①ふれあい大松サロン ②地域のきずなづくり、ふれあいなど 大松集会所にて毎月第2、第4月曜(13時 ~15時)、参加費:1回100円 内容:講演会、トランプ、手遊び、お茶会など (医師の話が人気あり) ③原則、大松地区在住高齢者(若い人の参加 可) 毎回40人(役員含む)程参加 ④会員15名が中心に運営、自治会(チラシ用 紙代、印刷代の負担、会場の無償提供)の協力 ⑤企画のマンネリ化、参加者の固定化の傾向 があり、人材(PC操作、会計、ネットワークがある 人など)の確保、若い人たちの参加を得たい。 ①ふれあい大松健康体操教室 ②体力づくり 大松集会所にて毎週火曜(14時~15時)参 加費:1回300円 ③原則、大松地区在住者、毎回20~30人参加 ④スタッフの中での健康体操担当者3名が運 営、自治会(会場の無償提供)の協力 ⑤大松住民の参加が半数強のため、地区内の参 加者を増やしたい。	①清掃活動 ②美化活動の一環として白井市との協定によ り富塚公園の清掃活動を実施 月2回 ③毎回会員10人程度 ④法人で実施 ⑤現在の課題はないが、清掃活動の拡大(西白 井駅くらいまでのエリアの公園)が今後の検討課題。 ①交通安全活動 ②千葉県交通安全推進隊に加入し、小学校 登校時の交通安全活動を実施 月3回 7時 10分~25分まで ③毎回会員3人程度 ④法人で実施 ⑤現在の課題はないが、活動人数と活動頻 度を増やしたい。 ①ラジオ体操 ②夏休みに入った1週間、子どもたちを対象 に朝のラジオ体操を実施し、最後に文房具を 渡している。(最後の1週間は自治会がラジオ体操を 実施) ③毎回子ども40人、保護者20人程が参加 ④法人で運営 ⑤課題等は特になし。 ホームページを開設し、常時、会員を募集し ている。
団体の課題 ①人、②もの、③お 金、④その他		②参加者増で会場が手狭になる。		①スタッフの高齢化・若返り 参加者の固定化	④地域への法人の認知度の向上
団体の将来展望		・加入促進し会員を増やす。ただし増えすぎ ると運営が困難となる。 ・みんなで外に出かけたい。 ・色々な人材(市職員や住民の中で得意分野の ある人)をもっと活用していきたい。		・地区の団体間との横のつながり、情報交換・ 交流を深めたい。 ・内容の工夫によるマンネリ化を防ぎたい。 ・地域の若い人を取り入れた活動をしたい。	未来を見据え時代や社会の変化に柔軟に対 応したまちづくり活動 ・人口構成やニーズに対応した事業 ・白井市の課題に基づく事業 ・子どもやその親を対象としたイベント
団体活動を通して 感じる地域課題		・高齢化が進行し、同じ高齢者でも元気に参 加する人、参加しない人と差がある。		・高齢者が自分を高齢者と自覚していないた めか、参加者が増えない、活動に関心を持 ってもらえない。	・西白井地区の地域内のつながりが弱い。 (特に男性)